

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年07月20日

計画の名称	安全・安心な土佐のみなとづくり（防災・安全）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	高知県												
計画の目標	県内港湾の施設整備や老朽化対策を実施し、災害に強く、安全で使いやすい施設を提供することにより、利便性・安全性を向上し、地域産業の振興、地域住民の安心・安全を図ることを目的とする。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,573	A	3,500	B	0	C	73	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	2.04	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	外郭施設、水域施設の整備により、安全で安定的に利用できる水域施設、係留施設を提供する。 施設数 0施設（H27）から19施設（H31） 安全性、利便性が向上する係留、水域施設数	0施設	0施設	19施設
2	老朽化する港湾施設の改良を図ることにより、港湾利用者の安全で使いやすい施設を提供する。 施設数 0施設（H27）から19施設（H31） 早期（5ヶ年）に改良が必要な老朽化施設の改良施設数	0施設	0施設	19施設

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	<input type="checkbox"/>	連携中枢都市圏を含む	<input type="checkbox"/>	流域水循環計画を含む	<input type="checkbox"/>	地域再生計画を含む	<input type="checkbox"/>
高知県強靱化計画に基づき実施される要素事業 A02-001～026												

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-001	港湾	一般	高知県	直接	高知県	地方	建設	防波堤（Ⅱ）（改良）の整備	防波堤（改良）（Ⅱ）L=5m	佐喜浜港・佐喜浜地区	■	■	■	■	■	113	—	
		H26以前 3-A1-1																	
	A02-002	港湾	一般	高知県	直接	高知県	地方	建設	防波堤（Ⅱ）（改良）の整備	防波堤（改良）（Ⅱ）L=95m (56m)	奈半利港・奈半利地区	■	■	■	■	■	1,894	—	
		H26以前 3-A1-5																	
	A02-003	港湾	一般	高知県	直接	高知県	地方	建設	防波堤の整備	防波堤L=43m、波除堤3基（30m）	下田港・港口地区	■	■	■	■	■	694	—	
		H26以前 3-A1-8																	
	A02-005	港湾	一般	高知県	直接	高知県	地方	建設	航路（-4.5m）護岸の整備	護岸L=75m	下田港・港口地区	■	■	■	■	■	384	—	
		H26以前 3-A1-7																	
	A02-008	港湾	一般	高知県	直接	高知県	地方	改良	新内港西岸壁（-4.5m）の改良	エプロン舗装等L=63m	奈半利港・奈半利地区			■	■	■	18	策定済	
		新規（統合）																	
A02-010	港湾	一般	高知県	直接	高知県	地方	改良	新内港物揚場（-3.0m）の改良	本体工補修等 L=9m	奈半利港・奈半利地区			■	■	■	15	策定済		
	新規（統合）																		

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-011	港湾	一般	高知県	直接	高知県	地方	改良	新内港東物揚場 (-2.0m)の改良	鋼矢板補修L=152m、目地補修N=2箇所、エプロン補修L=35m	奈半利港・奈半利地区	■	■	■	■	■	74		策定済
		新規（統合）																	
	A02-016	港湾	一般	高知県	直接	高知県	地方	改良	鹿島第2防波堤の改良	本体工補修、電気防食L=135m	清水港・鹿島地区	■	■	■	■	■	56		策定済
		新規（統合）																	
	A02-017	港湾	一般	高知県	直接	高知県	地方	改良	鹿島物揚場の改良	本体工補修、電気防食L=91m	清水港・鹿島地区			■	■	■	6		策定済
		新規（統合）																	
	A02-018	港湾	一般	高知県	直接	高知県	地方	改良	西元町物揚場の改良	上部工補修、電気防食L=214m	清水港・元町地区	■	■	■	■	■	51		策定済
		新規（統合）																	
	A02-021	港湾	一般	高知県	直接	高知県	地方	改良	新内港西物揚場 (-4.0m)の改良	本体工補修、エプロン舗装等L=51m	奈半利港・奈半利地区	■	■	■	■	■	28		策定済
		新規（統合）																	
	A02-022	港湾	一般	高知県	直接	高知県	地方	改良	内港第1物揚場の改良	本体工補修L=42m	下ノ加江港・下ノ加江					■	21		—
		新規（統合）																	
新規（統合）																			

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-023	港湾	一般	高知県	直接	高知県	重要	改良	潮江4号岸壁(-7.5m)の改良	上部工補修、被覆・電気防食L=26m	高知港・潮江地区					■	29	—	
		新規（統合）																	
	A02-024	港湾	一般	高知県	直接	高知県	重要	改良	東潮江第7岸壁(-7.5m)の改良	被覆・電気防食L=260m	高知港・潮江地区					■	25	—	
		新規（統合）																	
	A02-025	港湾	一般	高知県	直接	高知県	重要	改良	大間棧橋(-3.0m)の改良	上部工補修、電気防食等L=230m	須崎港・大間地区					■	72	—	
		新規（統合）																	
	A02-026	港湾	一般	高知県	直接	高知県	重要	建設	高知新港高台緑地の整備	緑地A=2.4ha	高知港・三里地区					■	20	—	
		新規																	
											小計							3,500	
											合計							3,500	

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
港湾事業	C02-001	港湾	一般	高知県	直接	高知県	地方	—	砂州保全対策	A=34,000m2、V=180,000m3	下田港・港口地区	■	■	■	■	■	73	—	
		港湾事業（A02-003～006）と一体的に行うことで、水域施設（航路・泊地）の安定利用が可能となるよう砂州の保全対策を実施する。																	
											小計						73		
											合計						73		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

高知県土木部にて事後評価を実施

事後評価の実施時期

令和3年7月

公表の方法

高知県土木部土木政策課のホームページで公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

防波堤の延伸及び老朽化した施設の長寿命化により港湾利用者の安全性の向上が図られた。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

物流により産業を支える港湾の機能強化・維持に継続して取り組むものとし、完了できなかった事業については社会情勢を踏まえた優先順位付けを実施し整備効果の最大化に努める。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	安全性、利便性が向上する係留、水域施設数	
	最終目標値	19施設
	最終実績値	0施設
2	早期（5ヶ年）に改良が必要な老朽化施設の改良施設数	
	最終目標値	19施設
	最終実績値	2施設

(参考様式3) (参考図面)

